

要求開発アライアンス
月次定例会

Ver1.0
Ignition Now!

Hagimoto Junzo

Requirement Development Alliance



なぜ1.0か？ 要求開発実施上の課題

- 計画の肥大化
 - 根拠なき計画の立案
 - 費用対効果的視点の弱さ
- 計画プロセスの脆弱性
 - 計画段階での狙いが脆弱
 - リアル感のない計画
 - 計画せず実施(モデリング)
- 改善するには
 - 仮説検証PDCAサイクルの導入

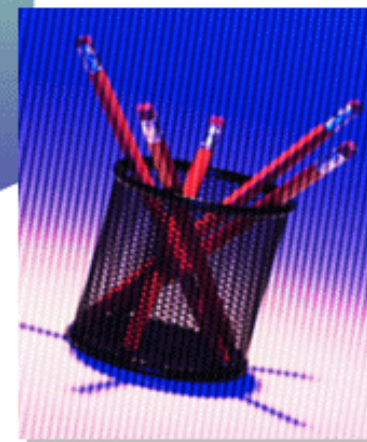
0.6

WHY
WHAT

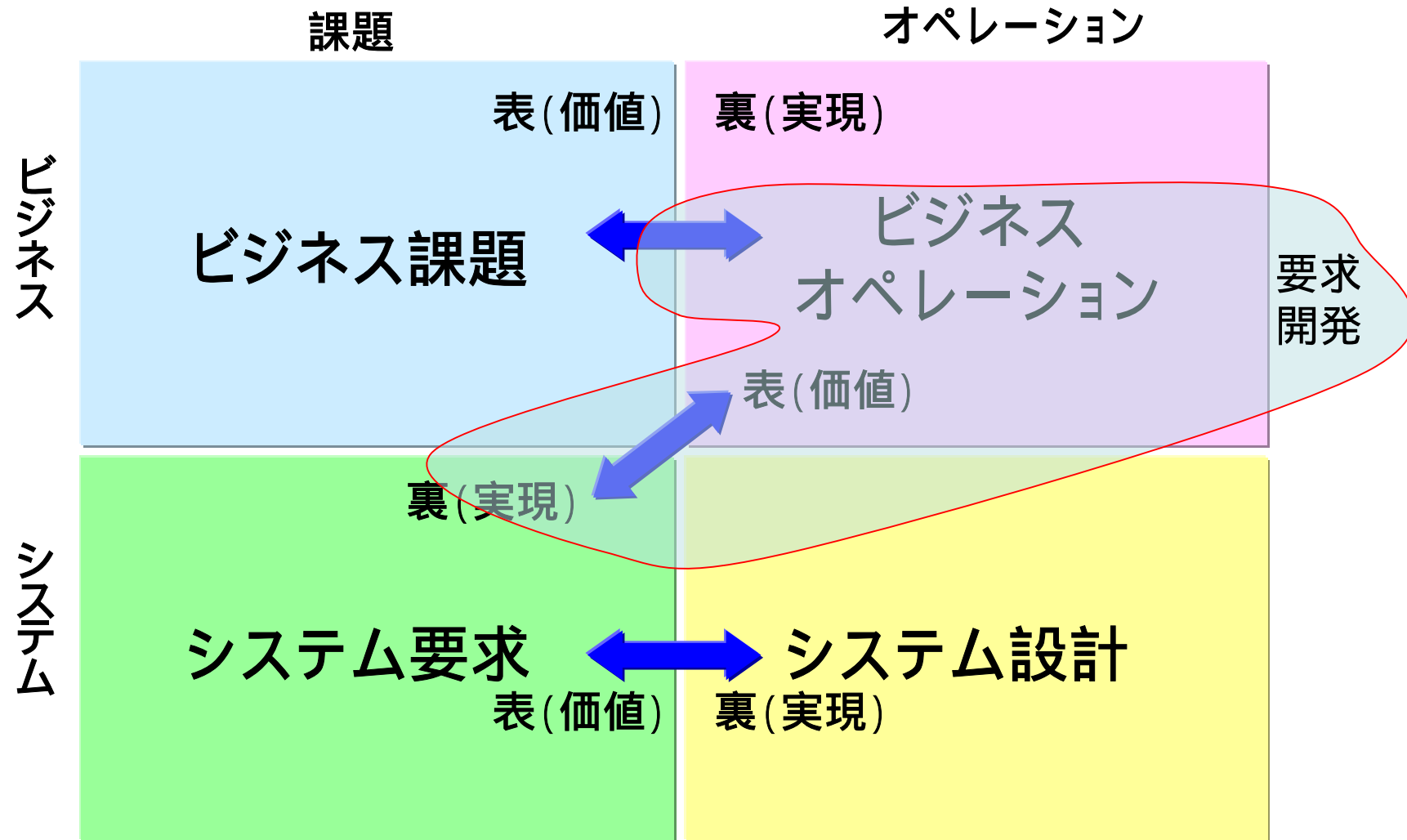


WHEN
WHO
HOW

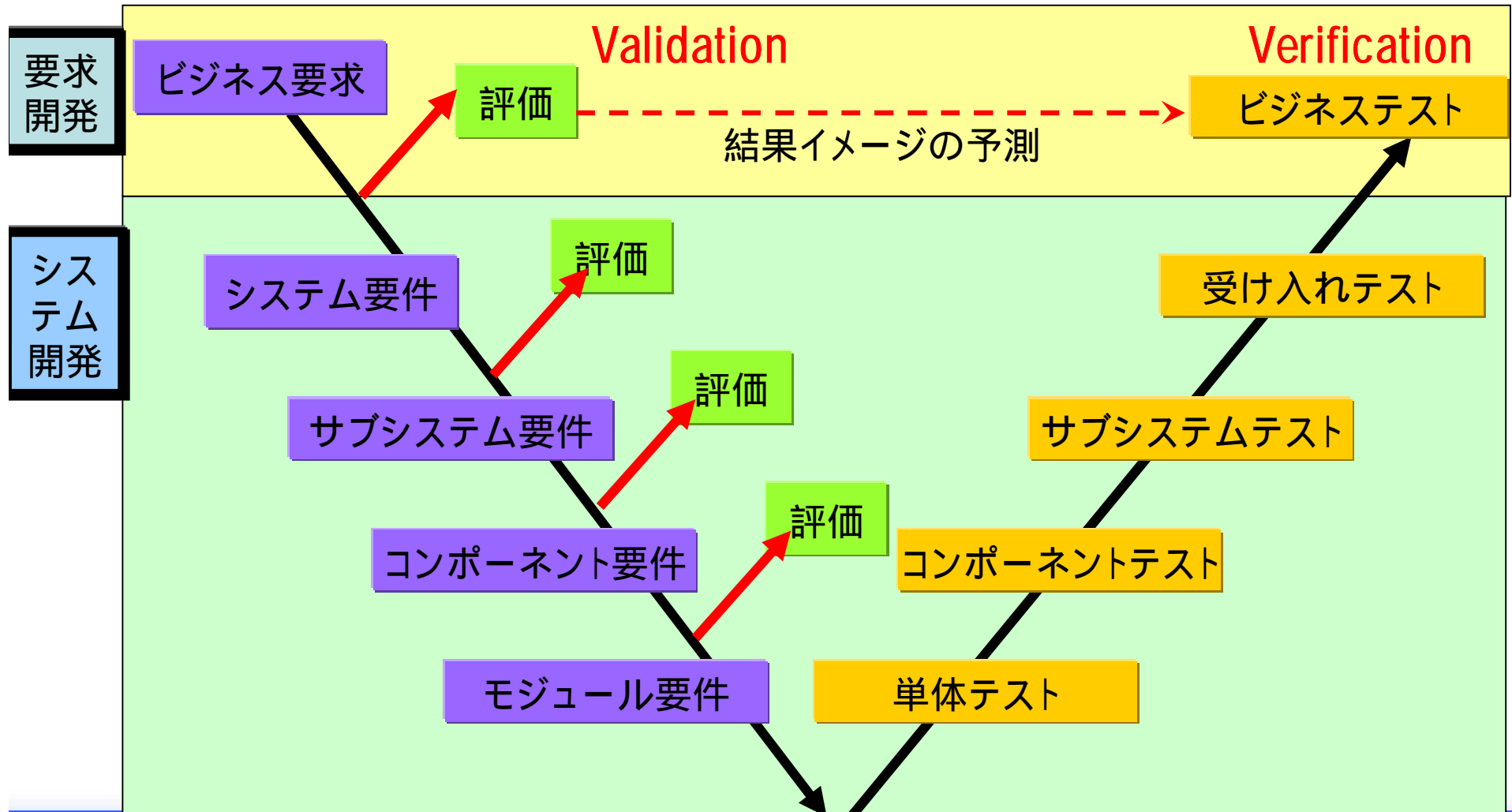
1.0



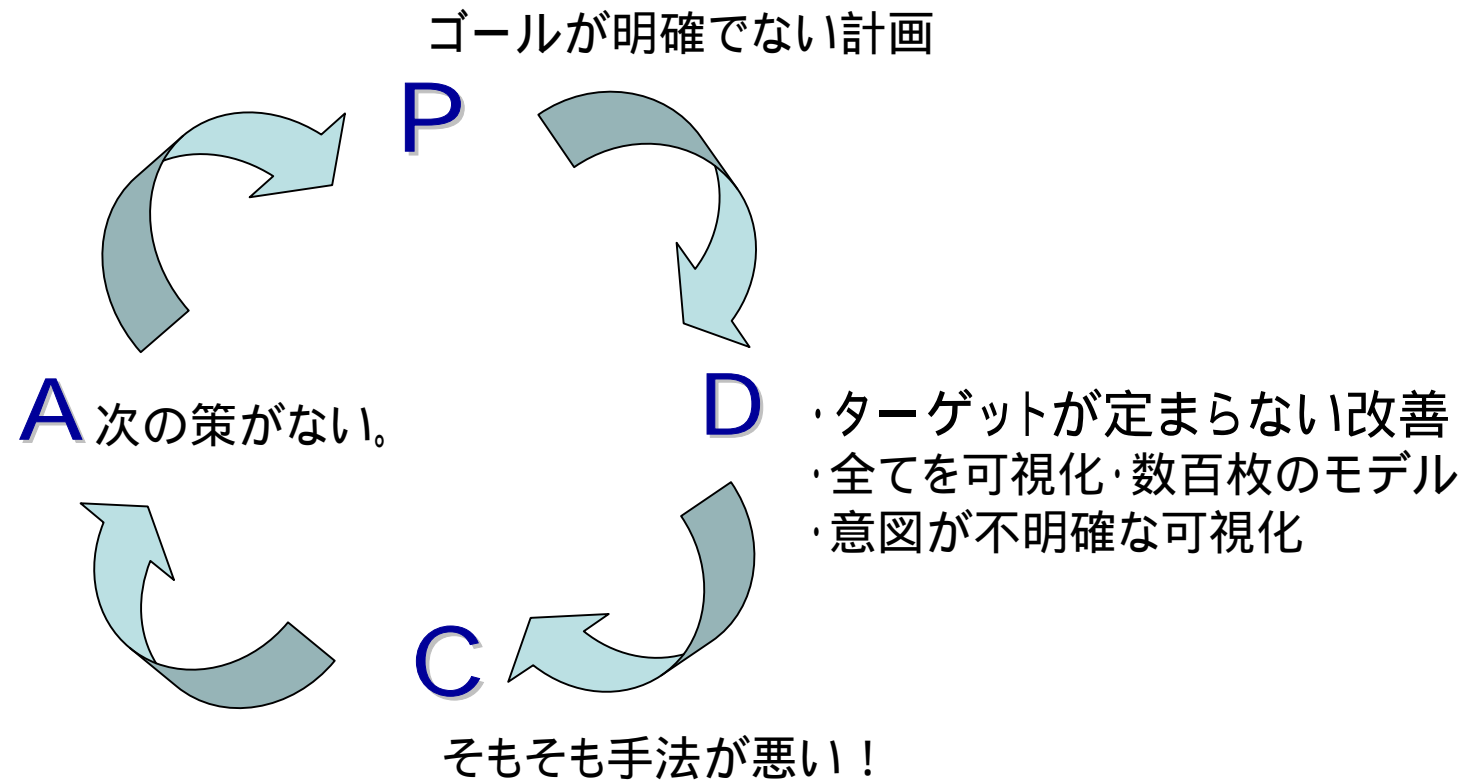
復習：ビジネスからシステム開発につなげる表と裏



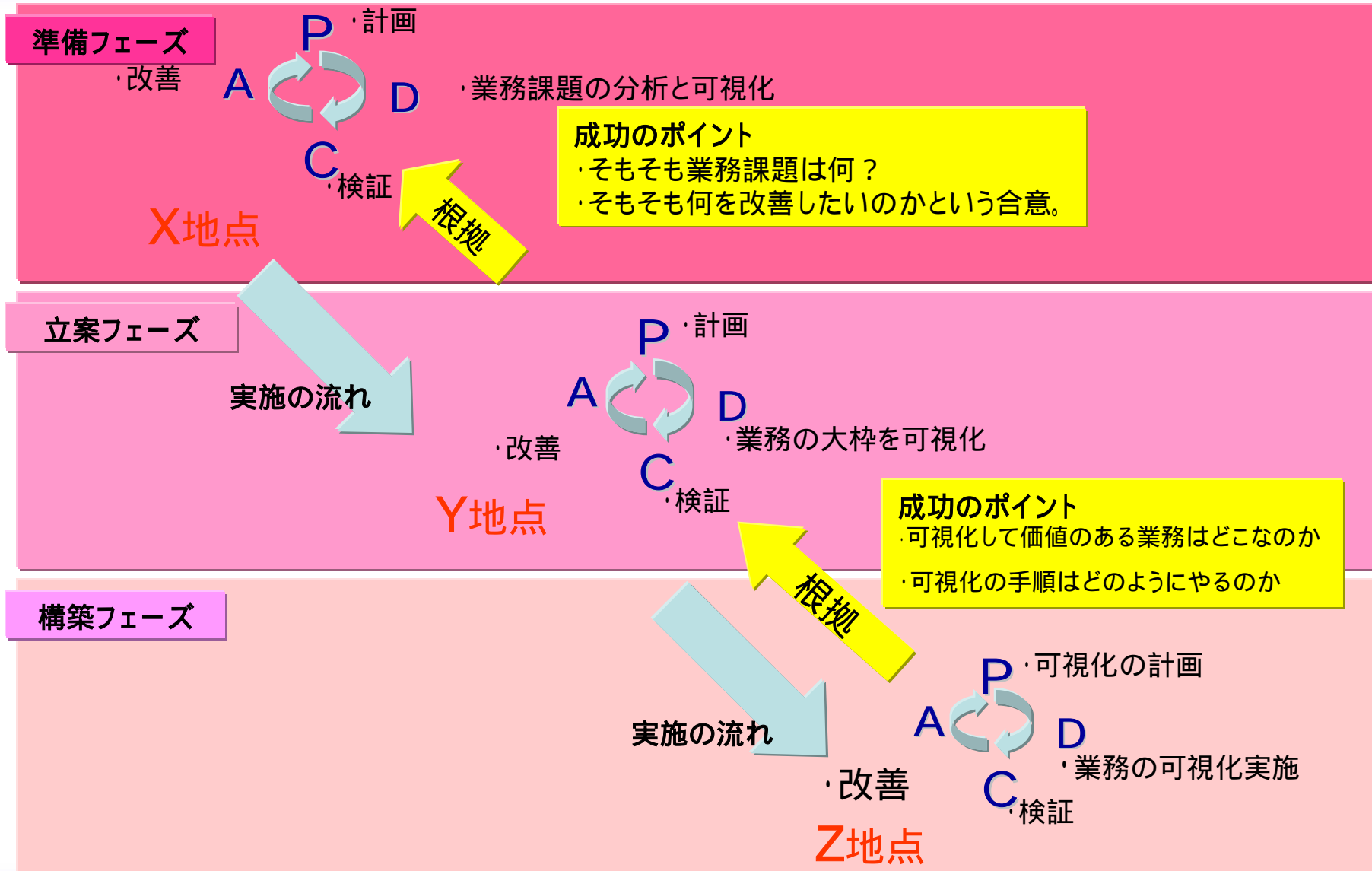
復習: 要求開発・変形V字モデル



失敗するビジネス改善(掛け声だけのPDCA)

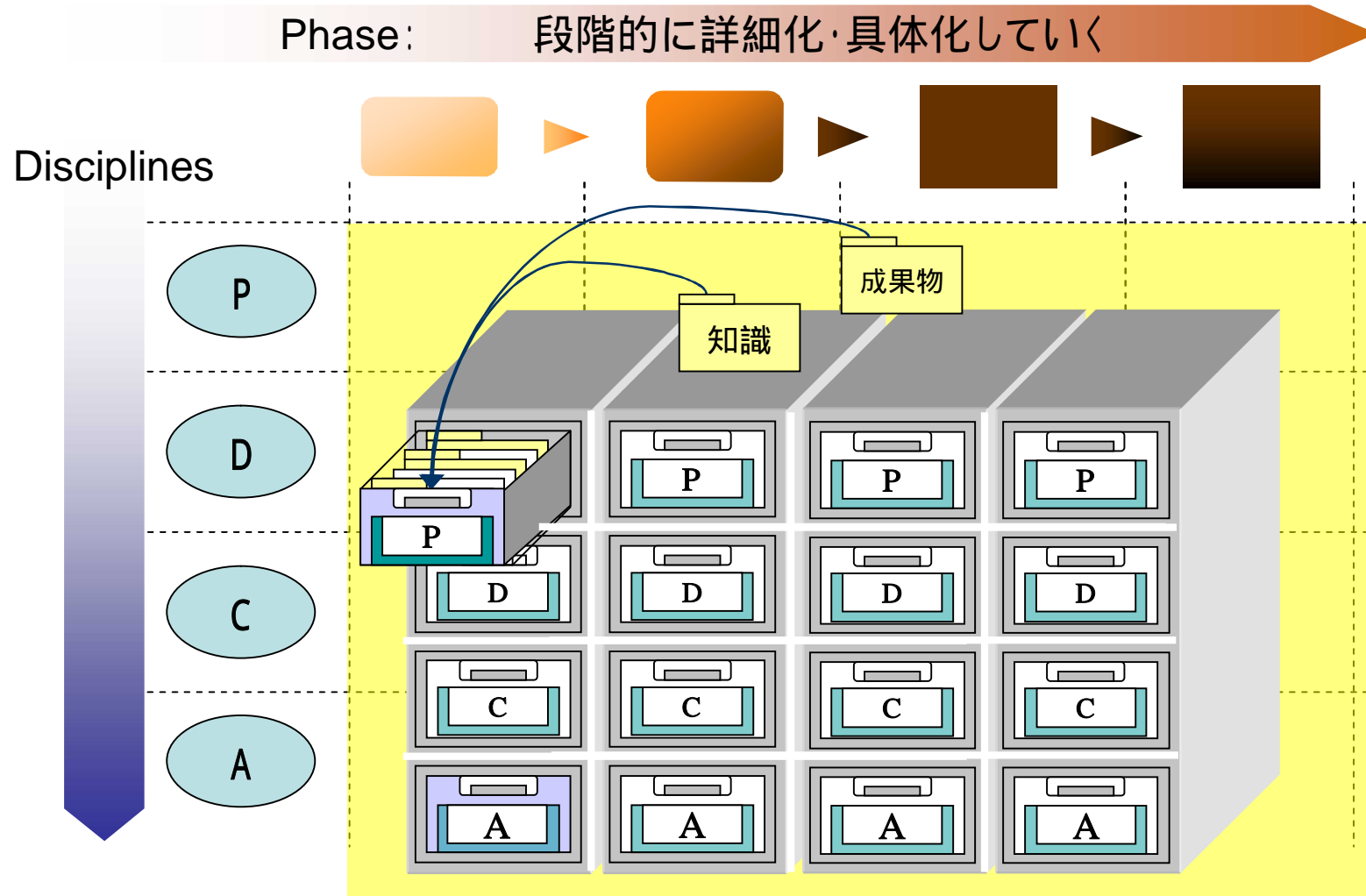


仮説検証型PDCA反復サイクルの必要性



PDCAプロセス・キャビネット

活動内容を入れる戸棚



実際のプロセスキャビネット(作成途中で)

要求開発プロセスキャビネット

段階	初期知識の可視化と合意に基づく計画	ビジネス課題に関する概観の可視化	新ビジネスのデザイン	システム開発への移行
Phase	準備 arrangements	立案 draft	デザイン design	移行 shift
Decipliens				
Plan	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画 (要求開発計画・システム化計画) 準備フェーズの詳細計画 要求開発チーム策定計画 	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の見直し 立案フェーズの詳細計画 ビジネス可視化プロトタイプ計画 	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の見直し デザインフェーズの詳細計画 	<ul style="list-style-type: none"> システム移行計画
Do	モデリング	<ul style="list-style-type: none"> ビジネス課題の理解 プレビジネスモデリングセッション 	<ul style="list-style-type: none"> 概観ビジネスモデリング ビジネス要求の開発 	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスToBeモデリング IT基本要求の定義
	要求モデル			
	教育	<ul style="list-style-type: none"> 動機付けセミナー コアメンバー教育 	<ul style="list-style-type: none"> 要求開発メンバー教育 	<ul style="list-style-type: none"> 業務メンバーの教育
	システム化		<ul style="list-style-type: none"> プロトタイプ開発 システム基本構想検討 	<ul style="list-style-type: none"> プロトタイプ開発 システム基本構想策定
Check	<ul style="list-style-type: none"> ビジネス課題の評価 モデリング評価 教育実施評価 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトミッションの評価 モデリング戦略評価 概観ビジネスモデリング評価 教育実施評価 ビジネス要求策定評価 モデリング実施方法の評価 プロトタイプ評価 	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスToBeモデルの評価 教育実施評価 IT基本要求の評価 モデリング実施方法の評価 プロトタイプ評価 	<ul style="list-style-type: none"> システム化の評価
Action	<ul style="list-style-type: none"> プロセス計画の不適合改善 すぐやるカイゼン 次フェーズの計画項目抽出 	<ul style="list-style-type: none"> プロセス計画の不適合改善 すぐやるカイゼン 次フェーズの計画項目抽出 	<ul style="list-style-type: none"> 不適合修正 すぐやるカイゼン 次フェーズの計画項目抽出 	

作成中のためプロセスセルとのマッピングが一部できていません。

* プロセステラリング時にはキャビネットからPDCAの単位でアクティビティを取り出す。

プロセスキャビネットによるプロセス策定

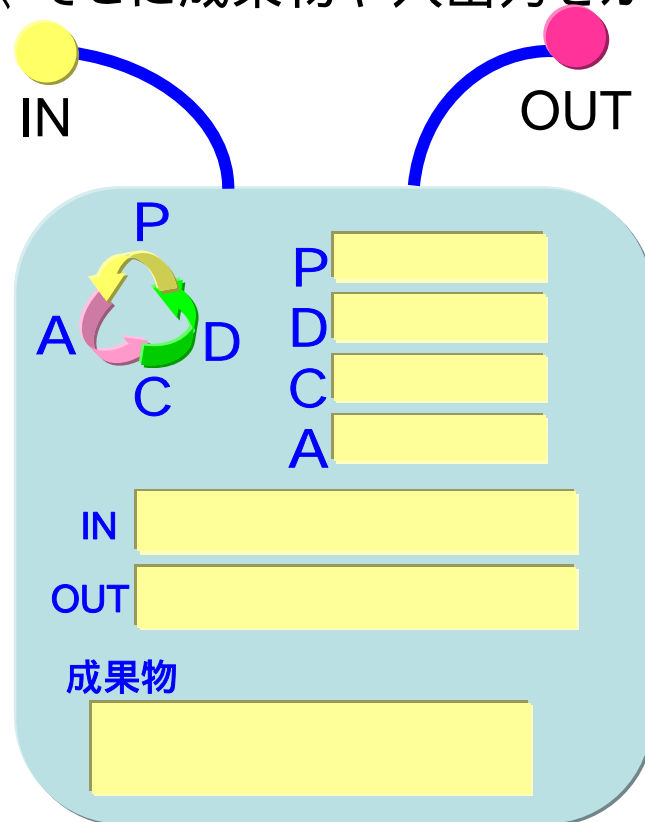
- プロセスをどのように作成するか？
 - PDCAのセットとしてアクティビティを取り出す。
 - たとえば全体計画に関するPDCA、教育に関するPDCA
 - 取り出したPDCAの単位同士の連携とアップとプットを決める。
 - たとえば全体計画PDCAと教育PDCAの流れをスケジュールとして書き込む。
 - PDCAを各アクティビティに分解して、WBSを作成し、作業工数を見積もる。

結構面倒！！

プロセスセルの概念

- プロセスセルの発想

- そもそもPDCAアクティビティのセットがあるのなら、最初からそのセットで知識の再利用すればよい。
- また、そこに成果物や入出力をカプセル化した単位があるとよいのでは？



プロセスセルという名前について

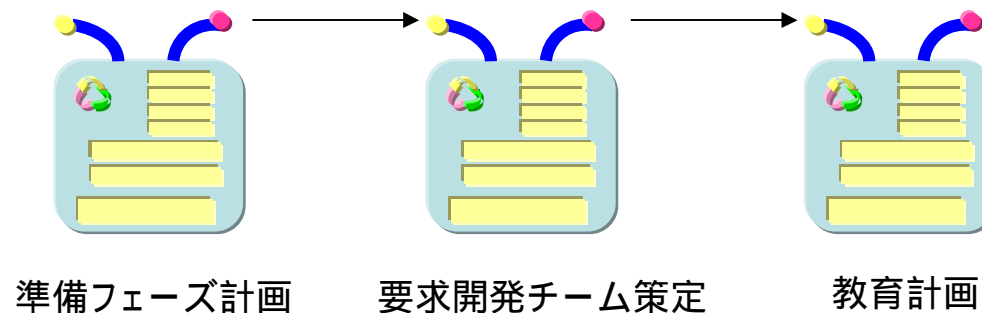
元々はプロセスコンポーネントとして皆さんに紹介していましたが、今回プロセスセルという名前に変更した理由は、マイクロソフトで開発側の手法として採用を検討されているMicrosoft's Software FactoriesのCell-based SoftwareFactoryにおけるプロセスセルの概念に非常に似ているため、世界に出す成果物としては統一感を持ちたいと考えたからです。

Cell-based SoftwareFactoryという概念は東芝ソフトウェアファクトリとして松本吉弘先生(元京都大学教授)が20年前に実現されているそうです。

アーキテクトカウンスルでは、この東芝ソフトウェアファクトリのプロセスをMicrosoft's Software Factoriesの開発プロセスとして導入を検討されています。

プロセスセルの特徴

- プロセス上逐次的に作業ができる作業のセット
- プロセスセル同士は、並行作業が可能
- プロセスセルは、活動、ドキュメント、入出力で構成される
- プロセスセルは、再利用可能なプロセスのパターンセット
- プロセス策定時には、プロセスセルを組み合わせる



要求開発方法論でのプロセスセル利用法

- 標準プロセスセルを用意する。
- プロセスキャビネット中のPDCAアクティビティ組み合わせ
- 標準的なプロセス組み合わせパターンを用意する
 - これによって、要求開発方法論(Openthology ver1.x)利用者は、プロセステーラリングをプロセスキャビネットから選択する面倒さを省くことができ、プロセスセルとプロセスセル典型パターンをカスタマイズすることで、プロセステーラリングが容易にできるようになるのである。

実際のプロセスセルの定義(その1)

準備フェーズの「準備フェーズ計画プロセスセル」

準備フェーズ計画プロセスセル

	PDCA	アクティビティ名
アクティビティ(活動)	Plan	全体計画
		準備フェーズの詳細計画
	Do	要求開発チーム策定プロセスセル
		初期教育プロセスセル
	Check	計画の妥当性確認
Act	計画の見直し・改善	
成果物		プロジェクト企画書
情報の入出力	入力	経営計画・システム開発計画
	出力	プロジェクト企画書

実際のプロセスセルの定義(その2)

準備フェーズの「要求開発チーム策定プロセスセル」

要求開発チーム策定プロセスセル

	PDCA	アクティビティ名
アクティビティ(活動)	Plan	要求開発チーム策定計画
	Do	プレビジネスモデリング(Optional) ビジネス課題の理解
	Check	メンバー責務・スキルの確認 ビジネス課題が抽出され理解されたか
	Act	メンバー構成の見直し 教育計画の再計画 必要であればビジネス課題の理解のやり直し
成果物		ビジネスモデリングDoc(Optional)
情報の入出力	入力	経営計画・システム開発計画
	出力	要求開発チーム構成図 ビジネスモデリングDoc(Optional)

注) Option(省略可の活動)

実際のプロセスセルの定義(その3)

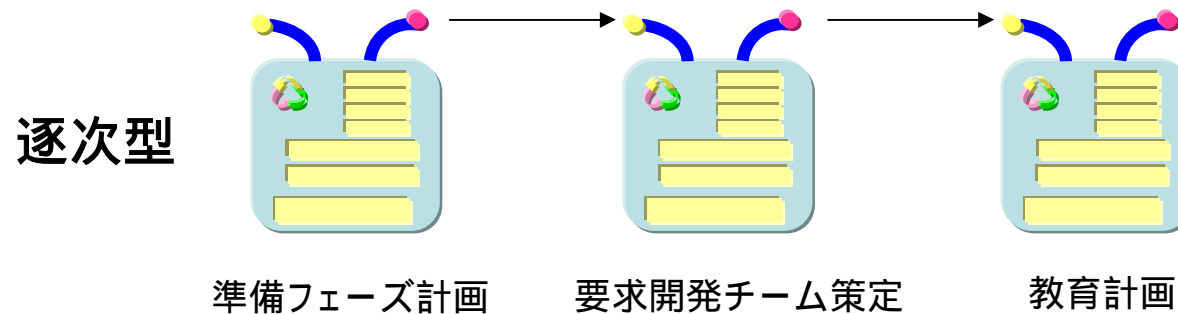
立案フェーズの「立案フェーズ計画プロセスセル」

立案フェーズ計画プロセスセル

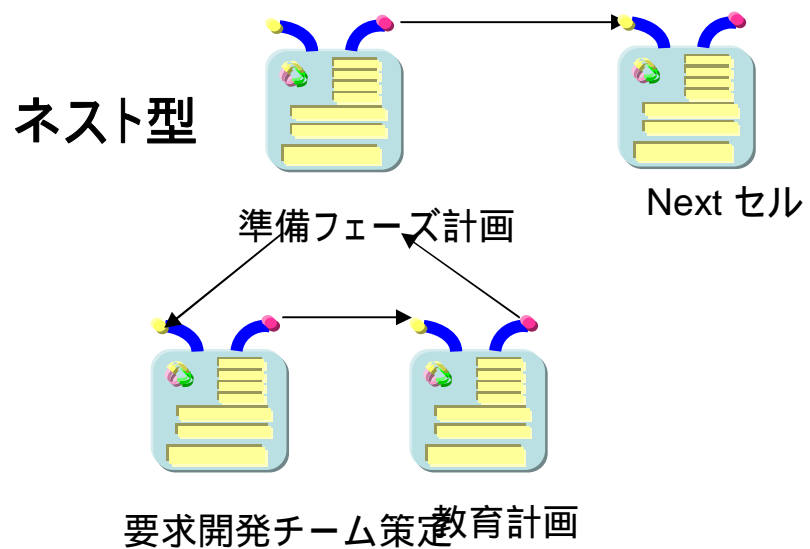
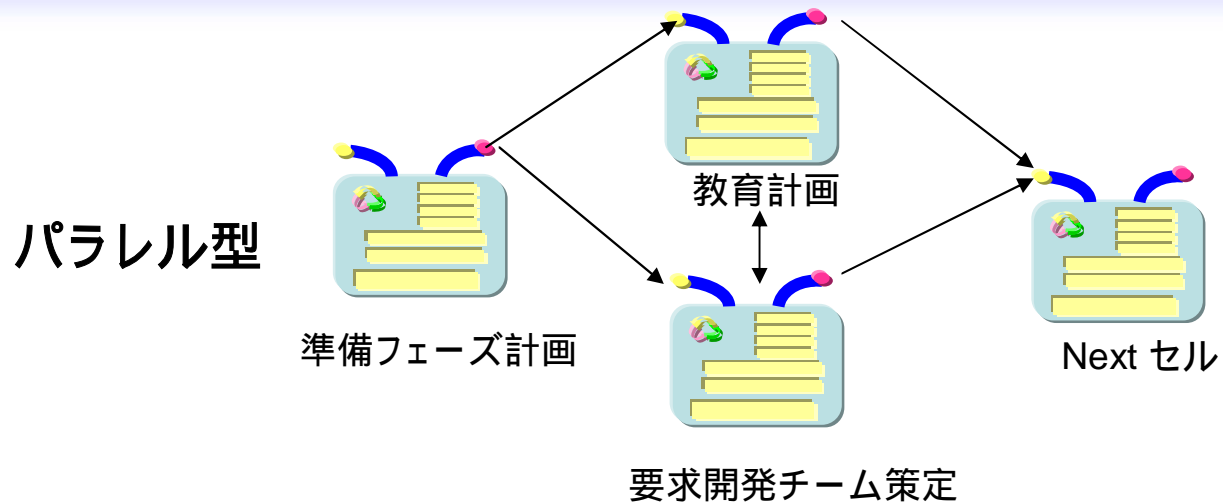
	PDCA	アクティビティ名
アクティビティ(活動)	Plan	全体計画の見直し
		立案フェーズの詳細計画
		ビジネス可視化プロトタイプ計画(Optional)
	Do	概観ビジネスモデリングプロセスセル
		ビジネス要求の開発プロセスセル
		要求開発メンバー教育プロセスセル(Optional)
		プロトタイプ開発プロセスセル(Optional)
Check	立案フェーズの計画の妥当性確認	
Act	計画の見直し・改善	
成果物		立案フェーズの詳細スケジュール
情報の入出力	入力	プロジェクト企画書
	出力	立案フェーズの詳細スケジュール

プロセスセル・パターン

- プロセスセル同士はリンク(線)によって連携する。



プロセスセル・パターン



プロセステーラリング方法 (提案中)

組織的プロセス再利用の枠組み

	モデル	方法	ロール
高レベル ↑	プロセスセルパターン 	プロセスセルパターンをそのままプランニングに利用	要求開発プロマネ (ver6.0と同等レベル)
		プロセスセルパターンを部分カスタマイズしてプロセスを策定	プロセス策定者
再利用レベル	プロセスセル 	プロセスセルの組み合わせを考案してプロセスを策定	プロセス策定者
↓ 低レベル	プロセスキャビネット 	アクティビティを組み合わせ新プロセスセルを定義	方法論策定者
		自社製の新アクティビティを組み込み、プロセスキャビネットを再構成	方法論策定者

要求開発プロセスセル標準 (策定中)

準備



基本計画



準備フェーズ計画



要求開発チーム策定



教育計画

立案



立案フェーズ
計画



概観ビジネス
モデリング



ビジネス要求
開発



プロトタイプ
開発



教育計画



システム基本
構想

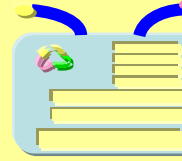
デザイン



デザイン
フェーズ計画



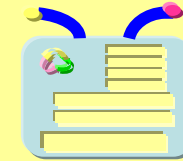
ビジネスToBe
モデリング



IT基本
要求開発



プロトタイプ
開発



教育計画

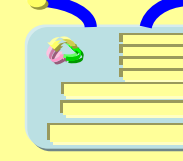


システム基本
構想

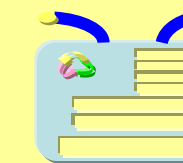
移行



システム移行
計画



システムToBe
モデリング



IT基本
要求定義



RFP作成

要求開発アライアンス
月次定例会

Fin.....

Requirement Development Alliance

